

【0004】

【0005】

【0006】

【0007】

【0008】

【0009】

【0010】

【0011】

【0012】

【0013】

【0014】

【0015】

【0016】

【0017】

【0018】

【0019】

【0020】

【0021】

【0022】

【0023】

【0024】

【0025】

【0026】

【0027】

【0028】

【0029】

【0030】

【0031】

【0032】

【0033】

【0034】

【0035】

【0036】

【0037】

【0038】

【0039】

【0040】

【0041】

【0042】

【0043】

【0044】

【0045】

【0046】

【0047】

【0048】

【0049】

【0050】

【0051】

【0052】

【0053】

【0054】

【0055】

【0056】

【0057】

【0058】

【0059】

【0060】

【0061】

【0062】

【0063】

【0064】

【0065】

【0066】

【0067】

【0068】

【0069】

【0070】

【0071】

【0072】

【0073】

【0074】

【0075】

【0076】

【0077】

【0078】

【0079】

【0080】

【0081】

【0082】

【0083】

【0084】

【0085】

【0086】

【0087】

【0088】

【0089】

【0090】

【0091】

【0092】

【0093】

【0094】

【0095】

【0096】

【0097】

【0098】

【0099】

【0100】

【0101】

【0102】

【0103】

【0104】

【0105】

【0106】

【0107】

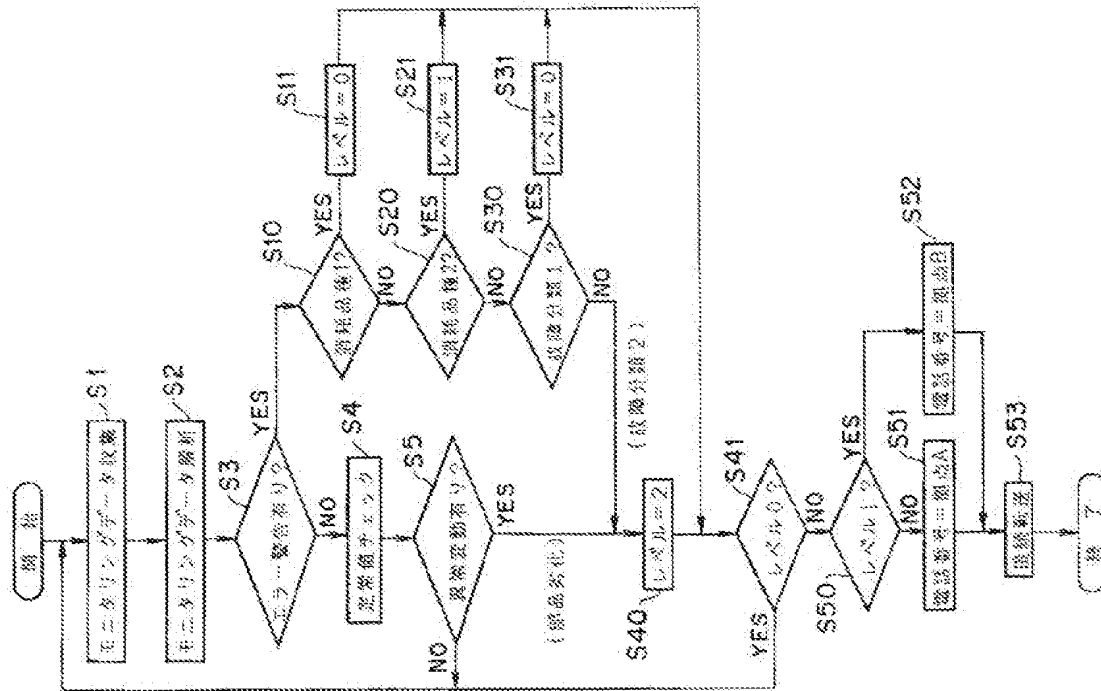
【0108】

【0109】

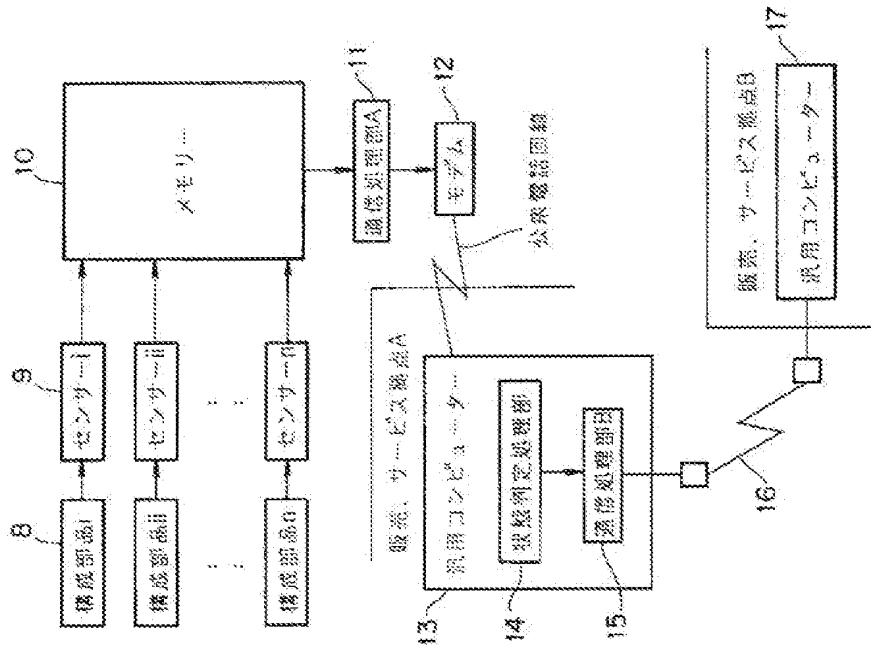
【0110】

【0111】

【図2】



【図3】



日本国特許庁 (J P) 特許出願公開

公開特許公報 (A) 昭63-59622

昭和55年(1980) 3月15日

特許庁
G 06 F 3/12
B 41 J 23/46
G 06 F 11/00
G 06 K 15/00

特許庁

特許庁
G 06 F 3/12
B 41 J 23/46
G 06 F 11/00
G 06 K 15/00

特許庁
G 06 F 3/12
B 41 J 23/46
G 06 F 11/00
G 06 K 15/00

特許庁

特許庁

特許庁

特許庁

特許庁

特許庁

特許庁

特許庁

特許庁

特許庁

特許庁

特許庁

特許庁

特許庁

特許庁

特許庁

特許庁

特許庁

特許庁

特許庁

特許庁

特許庁

特許庁

し、即ちその一として新聞雑誌と主として遊藝である。又此の如く、海へ望みたるは遊藝の場を求めた……今、
その一としてある、

[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]

1835

学より、その上に於て文學を學ぶ……その想像が形成されて
 る。この想像は特殊で、その中にその周囲の想像は入ら
 ない。その中に、その想像をそれたものも想像は含まれて
 いる。

[illegible]

『長作』の幾何学 第三回

いなりは水につないで炙す。いなりは皮を
いんげんに添けて炙す。オウツイといふのは、
生もたえろーの燗物で、おのころの義経さま

《中国书画函授大学肇庆分校建校二十周年纪念册》

[illegible][illegible]

張國燾、王若水、劉賓雁、李維漢、鄧演達、陳銘、

— 126 —

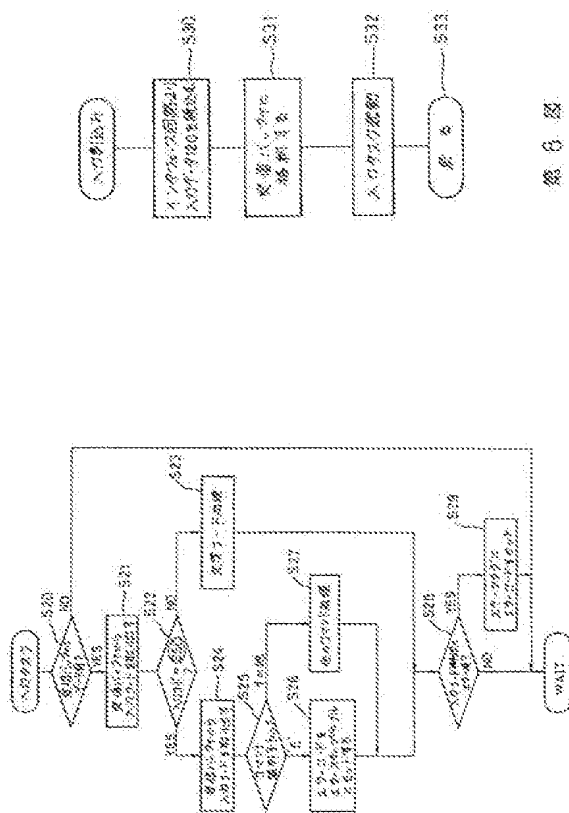
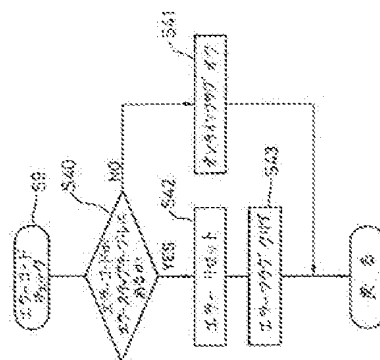


圖 2-2



- Translation -

OFFICE ACTION

Patent Application No. 2003-405519

Drafted Date: August 18, 2009

Patent Office Examiner: Fumio KOMIYAMA 4468 2P00

Agent(s) for Applicant(s): RIKOH COMPANY, LTD.

Applied Article(s): Article 29 Paragraph 2

This application should be rejected for the following reasons. Any opinion about this rejection can be submitted in a Response within 60 days from the mailing date of this Office Action.

Reason

The claims listed below are unpatentable under Article 29 Paragraph 2, because a person with ordinary skill in the art to which the invention pertains could have easily made the invention prior to the filing of the patent application on the basis of an invention(s) disclosed in the following publications which were distributed in or outside of Japan before filing of the application or on the basis of an invention(s) available to public through electronic communication lines (e.g. Internet etc.) in or outside of Japan before filing of the application.

Remarks (Refer to List of Cited References)

[claims 1-5]

[reference 1]

In the reference 1, the error code is registered in the error skip table. When the error corresponding to the error code registered in the error skip table occurs, the reference 1 automatically resets the error to continue the process. When the other error occurs, the reference 1 stops the output process and displays the error code on the status LED to prompt the user to input manually an instruction (Especially, see line 2 of upper-right portion of page 4 -- line 19 of lower-left portion of page 4, and Fig. 19).

It is a conventional technique to classify the errors into each category and process the errors for each category (for example, see references 2 and 3). Therefore, a person with ordinary skill in the art to which the invention pertains could have easily modified the reference 1 to a configuration capable of registering the errors for each category and displaying the error message and the operation-guiding message when the manual recovery process is set.

List of Cited References

1. Japanese Patent Application Publication No. S63-059622

拒絶理由通知書

特許出願の番号	特願2003-405519
起案日	平成21年 8月18日
特許庁審査官	小宮山 文男 4468 2P00
特許出願人	株式会社リコー 様
適用条文	第29条第2項

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものです。これについて意見がありましたら、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出してください。

理 由

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前に日本国内又は外国において、頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

・請求項1～5

・引用文献1

引用文献1には、エラー発生時に自動的にエラーをリセットして処理を続行させたいエラーのエラーコードをエラースキップテーブルに登録しておき、エラースキップテーブルに登録されたエラーが発生した場合はそのまま自動的にエラーをリセットして処理を続行し、他のエラーについては出力処理を停止させてエラーコードをステータスLEDへ表示してオペレータの介入をさせることが記載されている（特に、第4頁右上欄第2行目～左下欄第19行、第9図参照）。

エラーをカテゴリー別に分類してカテゴリー毎に処理を進めることは周知の技術であり（例えば、引用文献2、3等参照）、引用文献1記載の発明において、エラーをカテゴリー毎に登録可能に構成すること、及び、ユーザ操作による回復処理が設定されている場合はエラーメッセージと操作案内メッセージを表示させることは、いずれも当業者が容易になし得たことである。

引 用 文 献 等 一 覧

1. 特開昭63-059622号公報

整理番号 PH051086

発送番号 550323 2/E

発送日 平成21年 8月25日

2. 特開2002-311759号公報

3. 特開平06-030146号公報

先行技術文献調査結果の記録

・調査した分野 IPC B41J 29/42, 29/46

G06F 3/12

・先行技術文献 特開2000-155664号公報

この先行技術文献調査結果の記録は拒絶理由を構成するものではありません

この拒絶理由通知の内容に関する問い合わせ、または面談の希望がありましたら下記まで連絡下さい。

特許審査第一部 印刷・プリンター 大浜登世子

TEL. 03 (3561) 1101 内線3261